

平成29年第11回田原市教育委員会定例会会議録

- 1 開会 平成29年11月17日 午後1時30分
- 2 閉会 平成29年11月17日 午後3時13分
- 3 会議に出席した委員
花井 隆教育長、山本明子教育長職務代理、土井真紀江委員、
金田真也委員、太田孝雄委員
- 4 会議に欠席した委員
なし
- 5 会議に出席した職員
教育部長 大根義久
教育総務課長 伊藤英洋
学校教育課課長補佐兼係長（代理出席） 峠 尚良
生涯学習課長 富田 成
スポーツ課長 本多剛晴
博物館長 鈴木利昌
文化財課長 増山禎之
中央図書館長 豊田高広
教育総務課課長補佐兼係長 小久保義則
教育総務課主任 彦坂幸子
- 6 議事日程
別紙のとおり

田原市教育委員会第11回定例会議事日程

日 時 平成29年11月17日（金）
午後1時30分
場 所 北庁舎2階 200会議室

- 1 会議録署名者の指名
- 2 教育長報告事項
- 3 議題
 - (1) 土地の取得について
 - (2) 平成29年度一般会計教育費補正予算について
- 4 報告事項
 - (1) 教育委員連絡報告事項
 - (2) 平成30年度当初予算要求について
 - (3) 小中学校への寄附について
- 5 その他

◎次回教育委員会日程（案）

- ・第12回定例会 12月22日（金） 午後3時00分から
北庁舎2階 200会議室

教育長

開 会 午後 1 時30分

本日は、何かとご多用のところご出席くださりまして、ありがとうございます。

ただいまの出席者は、5名であります。

定足数に達していますので、平成29年田原市教育委員会第11回定例会は成立いたしました。

これより開会いたします。

それでは、会議規則第13条第2項の規定により、会議録署名者の指名をさせていただきます。

今回の署名者としては、土井委員と太田委員のご兩名を指名させていただきますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

それでは、議題に先立ち、教育長報告事項について、報告させていただきます。

10月3日、定例会があり、10月7日からは、皆さんにも参加していただいたバスケットボール大会や学校訪問などがありました。

10月15日、教育委員会が後援をしている渥美半島ぐる輪サイクリングがありました。この日は大粒の雨が結構どしゃ降りだったんですが、県内外から1,200人もエントリーがあり、大会も13回を超え、だいぶ定着はしたかなというように思います。

10月26日、研究発表会ということで、泉小学校、伊良湖岬中学校で挨拶をさせていただきました。その泉小学校が、11月4日の市民館まつりで焼きそばを出しており、総合的な学習でやったものを、市民館まつりの中でさらに充実してやっているということで、その様子を見てまいりました。

11月10日、嚶鳴フォーラムということで、これは市長会と教育長会と別々でやるのですけれども、私は教育長会に参加させていただきました。大分の日田市は、すばらしいところで、市長もまた来たいと力強く言うておりました。私たちは新幹線で博多まで行って、そこから高速バスで向かいましたが、実はJR線があるのですけれども、土砂崩れの関係で線路が埋まっています、そこまで行けないということで、バスが中心的な足になっているかなというように思います。

戻りまして、10月24日、愛知県社会科教育研究大会が田原地区で開催され、県内、特に三河を中心に社会科の先生が300人を超えるぐらい来ていただいたので、挨拶で田原のコマーシャルを幾つかさせていただきました。多くの方にご支援をいただいて無事にできたかなというように思います。

11月12日、福祉のつどいの開会式等に出たのですが、そのときに社会福祉協議会の豊田会長から、田原中学校が修学旅行で、東京でキャベツを売ったりしている場面をテレビで見て、非常にすばらしい活動ではないかということで、修学旅行も変わったなという印象を持った

というお話をいただきました。そういった活動が、修学旅行でどうかという父兄の声もあるように聞いておりますので、なかなかいろいろなことで全面賛成というのは難しいかなと思います。これは2年目を迎えましたので、今後どうなっていくかなというようなことで、福祉のつどいの中ではありますが、そういう話題を聞く機会がありました。

同日の、スポーツ大好き田原サッカークリニックというのは、スポーツ課の主催で、サッカーが大好きな少年たちが集まっていますが、その中で聞いたのは、サッカーを中学生になってからやりたいので豊橋の中学校へ行くという田原の子がいて、それも残念だけれども、やむを得ないのかなということでもあります。

11月13日、公衆電話関係の法人の日本公衆電話会からこども手帳の贈呈がありました。手帳の内容は、交通安全、犯罪や災害から身を守る、支え合いの大事、インターネットを正しく使う、エコを心がけるということで、最後に、「早寝、早起き、朝御飯」というようなところで、80ページを超す冊子を贈呈いただきましたので、小学5年生に配布していきます。

11月15日、田原市教育支援委員会は特別支援の子どもたちのこれからを考えるとということで、いろいろな障害を持っている子どもたちについて、支援学級がいいと、あるいは普通学級でいだろうかというようにこと専門家を交えて意見交換をする場です。

11月16日、東三河地区学校保健研究大会が豊川でありました。こちらは600人くらいの参加者で、隔年で東三河、来年は西三河で開催となり、再来年は田原で行われることとなります。

本日17日、教育委員会で、その後、文教厚生委員の皆さんと意見交換会があります。

11月18日、学芸会もありますが、実業団駅伝の開会式があります。

11月19日、日曜日が中部北陸実業団駅伝大会ということです。

あと、教育委員会としては、11月21日に来年度予算のヒアリング等があったり、その後、私が出る会で、田原会や校長会、市体育協会の45周年式典というように続いてまいります。

そういう中で、教育界の問題で一番大きかったのが、福井県の池田町のいじめ自殺事件だったというように思います。担任による強い指導で自殺に追い込まれたということで、各学校では、そういうことを共有していただいて、強い指導がないようにということで、叱ってはいけないというわけではないのですが、過剰にならないように。

いじめ事件に続いて、最近、豊橋の岩西小学校での教員による体罰。その教員は、過去に何度かいろいろな場面で事が起きているというところで、大村県知事も「厳正に対処してほしい、二度とあってはならない」と。いじめ自殺と同じように、二度とあってはならないようなことが起きているということ。

それから、教員による不祥事も県のほうから発表されまして、教員による不祥事がなかなかとどまらないというようなこと。

そのような中で、教育委員会としては、来週、中学校のテスト週間がありますので、小中学校を挙げて、ノーテレビ、ノースマホ、ノーゲームも含めて、何とか家庭で静かに学習、読書に取り組むというような習慣を、強制ではありませんが、やっていこうではないかということで、各学校に伝えまして、中学校を中心に展開できるのではないかと。この話を高校の先生にしたところ、高校も加わりたいたいということでした。今年は加わりませんが、半島全体でそういうような、あまりスマホに頼らず、もう少し家庭で話題を共有できるといいかなと思いつながりながら活動しています。今年は秋だけですが、春、秋というようにやれるといいかなと期待をしているのですが、また様子を見ながらやってまいりたいと思います。

以上、少し長くなりましたが、報告をさせていただきます。何かご質問がありましたら受けたいと思います。

では、教育長報告事項を終わり、議題に入りたいと思います。

初めに、議案第23号土地の取得についてを議題といたします。事務局、説明をお願いいたします。

議案第23号です。土地の取得について、下記のとおり土地を取得するものとする、本日提出の教育長名でございます。

目的としましては、伊良湖岬小学校の整備事業用地のために土地の取得をするものです。

所在地としましては、田原市小塩津町宮構71番1外2筆。地積については、5,256.45平方メートル、取得価格は3,153万8,700円です。契約の方法は、随意契約とするものです。

1枚めくっていただきますと、現在の伊良湖岬中学校の位置図がございます。現グラウンドの借地部分を返し、今の校舎の裏側を拡張するというので、その拡張用地が今回の取得の部分です。

裏面を見ていただきますと、宮構71番1、72番1、72番3という部分が、今回の議会への上程の議決案件の部分でございます。

以上が、議案第23号の説明となります。

よろしく願いいたします。

ありがとうございました。

ただいま事務局の説明がありました土地の取得について、ご質問等はありませんか。

グラウンド部分が隣の日吉神社の土地だったので、そこを神社にお返しして、新たに上のほうへ土地を獲得し、そちらへ校舎を建設していくということでもあります。

よろしいでしょうか。

では、ご質問等がないようですので、お諮りします。

教育総務課長

教育長

土地の取得につきまして、原案どおり可決することにご異議ございませんか。

(異議なし)

教育長

ご異議ないようですので、議案第23号につきましては、原案どおり可決いたしました。

続いて、議案第24号平成29年度一般会計教育費補正予算についてを議題といたします。

教育総務課長

事務局、説明をお願いいたします。

それでは、次の議案第24号です。平成29年度一般会計教育費補正予算については別添によるものとするということで、本日提出の教育長名でございます。

初めに教育総務課からご説明させていただきます。

歳入予算の12月補正となります。小学校教育費の補助金について、へき地児童生徒援助費等補助金ということで、伊良湖岬小学校のスクールバス運行业務をしておりますが、その委託費の部分が2分の1の補助ということで、国庫支出金からおりてまいります。

これは、これまでは不交付団体については補助金がかからないということだったのですが、今年度、国の補助金の要綱が改正になりまして、不交付団体についても補助金がつくということで、金額にしまして998万6,605円の歳入の計上をさせていただくものでございます。

続きまして、歳出予算の12月補正でございます。

まず、小学校管理運営事業です。こちら工事請負費を12月補正で上げさせていただきたいと思っております。

今年の3月に、野田小学校に新しく体育館が竣工しておりますので、そのため不要となった旧体育館、屋内運動場の解体をするための解体工事費2,490万4,800円の計上。

それから、清田小学校の屋内消火栓設備が機能していないということが消防の設備点検で見られましたので、緊急を伴うものでございますので、そちらの改修工事費549万7,200円を計上させていただきたいものでございます。

続きまして、中学校管理運営事業になります。委託料の補正をさせていただきたいものです。

こちらは、平成31年4月の伊良湖岬中学校と福江中学校の統合に向けまして、福江中学校に伊良湖岬中学校の生徒の受け入れをするための改修工事設計委託費847万8,000円の予算計上でございます。管理教室棟の外壁改修、送迎バスのための昇降場の舗装工事、それから教室の内装工事、改修工事等の設計管理委託とさせていただいているものです。

学校教育課課長補佐

教育総務課からの補正予算についての説明は、以上でございます。

学校教育課ですが、債務負担行為ということで、平成30年度から市

内全小学校で移行期対応英語教育推進事業を実施するためのものです。平成30年度、31年度の2年間分を3月に契約し、4月1日から実施するためのものです。英語活動事業プログラムの継続的な活用のため、ALTの派遣、iPadの通信料、それから2020年度に向けた新教材に対応する学習内容への変更業務を同時に進行するためのものです。

以上です。

教育長

これは、次のページに詳しく書いてあるのですが、

学校教育課課長補佐

先ほど述べたように、タブレットを使ったということで、通信料その他も含めて、平成30年度からの2年分を本年度末に契約するためということです。

教育長

では、続いて、スポーツ課。

スポーツ課長

スポーツ課からお願いします。

スポーツ大会支援事業ということで、ワールドサーフィンゲームス、いわゆるサーフィンの世界大会を開催するための大会費用の一部負担金を、今回の12月補正予算に計上予定でございます。

ワールドサーフィンゲームスの実施要綱（案）というものが、次ページにありますので、簡単にご説明させていただきます。

今、田原市において、サーフィンの世界大会開催誘致という動きをさせていただいております。その準備といたしまして、この補正予算を計上させていただきます。

大会の名称は、2018国際サーフィン連盟、ISAというように略しますけれども、2018国際サーフィン連盟ワールドサーフィンゲームス田原大会という名称でございます。

開催時期は、来年の9月を予定しております。

開催場所は、赤羽根海岸、ロングビーチになるのか、ロコポイントになるのかは、まだ微妙でございますけれども、予定をしております。

主催が、国際サーフィン連盟（ISA）でございます。

主管、この主管というのが運営の中心となるところでございまして、日本サーフィン連盟（NSA）と申します。

共催が、田原市や田原市教育委員会。後援が、県や県の教育委員会ほかを予定しております。

出場国は、約50カ国という見込み。出場選手も、約300名という見込みでございます。

大会開催の目的は、地域活性化ということで、経済波及効果を狙うもの、サーフィンを通じた交流人口の拡大、移住・定住促進、またスポーツ振興という狙いを持っております。

このように、サーフィン世界大会の開催誘致に向けて努力をさせていただいております。

それに向けまして、日本サーフィン連盟への負担金といたしまして、3,000万円の負担金の予算計上でございます。

中央図書館長

大会運営の事業費は、見込みでございますが、約1億3,000万円で、そのうちの3,000万円を田原市が負担するという事で日本サーフィン連盟に支払い、開催に向けて準備を進めたいと考えております。

なお、開会式だとかパレードを行うことになっておりますので、次ページ以降に、今年9月に行われました、宮崎県日向市のジュニア大会の写真がつけてありますので、このような開会式だとか閉会式、セレモニーの関係をを行う予定というようにイメージしていただければと思います。

スポーツ課からは以上でございます。

では、続きまして、図書館から説明をいたします。

図書館運営事業の工事請負費ということで、550万8,000円を計上させていただきますいております。これは、中央図書館の空調設備のヒートポンプといわれる部分の修繕ということです。全部で12基、機械があるのですが、このうちの正常運転しているものが現在5基しかないということで、暑いほうも、寒いほうも大変なのですが、特に夏、非常に厳しいという状況になっておりまして、30度を超える部分もかなりあるという状況です。修理可能な6台を修理して、快適な環境が確保できるようにしたいということでもあります。

以上です。

教育長

では、事務局の説明が終わりました。

教育総務課長

順番に教育総務のほうから、野田小学校の解体には、2,500万円近いお金がかかるということです。その前にバス代が国から約1,000万円。要綱改正に伴って、今までは交付団体だけだったのですが、統廃合から5年間はつきますので、伊良湖岬小学校で言うと、あと2年間はいただけるということです。

教育長

本当は2年間で校舎ができて、バスが動くといいかなと。あと、つけ足しはありますか。

教育総務課長

計算方法がありまして、かかった費用が全てもらえるとか、2分の1もらえるというわけではなく、通学でスクールバスに乗る遠距離者の関係があるものですから、4キロメートル未満、4キロメートル以上によって、そのエリアの児童数を掛ける、割るという数字が出てきます。全校生徒に対してということではないです。

教育長

そういった細かい式がある中で、何とか1,000万円を国から補助していただいたと。3,300万円というのが全体だね。

教育総務課長

はい。

教育長

そのうちの1,000万円は国が出してくれると。その差し引きの2,300万円は市のほうということで、これが今後、中学校の統廃合を進めていくとかさんでくるということで、野田中学校の分は入っていないのですが、ゆくゆく1億円に届くのではないかという懸念はあります。

教育総務課長

野田中学校についても、現在、国に申請をしていますが、この平成

教育総務課長	今の中学校の校舎のちょうど真裏に今度の新校舎ができる感じで、その裏手の道も買いましたので、その今の拡張用地の上が道になるというイメージです。
山本委員	あと、ALT、英語教育のタブレット端末を導入について、ソフトを導入するということですか。
学校教育課課長補佐	タブレット端末の、これは賃貸なのですが、それから通信料で、これは教員が使うということです。
山本委員	英語の先生が使われるということですか。
学校教育課課長補佐	はい。
山本委員	それと、ALTをまた3人増やすということになると。
学校教育課課長補佐	人数は、全小学校に必ず英語の時間に行けるような人数を、それが3人になるか、4人になるかは、業者によりますが、必ず全小学校へ時間割で配置できるような数をお願いするということです。
教育長	今、六連小学校と東部小学校で試験的に、モデル校としてやっているのですが、それを思い切って全部。来年から学習指導要領の移行措置ということで、5、6年生については、英語の授業を年間50時間やりなさいということになっています。 現在、週1時間のものを、合計すると35週で年間35時間やっているところですが、プラス15時間を正規にやりなさいと。これは、義務化、必須ということです。今は、その15時間は15分ずつのように分割してはいけませんとなっています。正式な学習指導要領実施の平成32年には、そういうこともあり得るということで、そのときには英語の授業が、さらに70時間になり、多くのところでは英語で週2時間とってしまうと大変なので、週1時間と15分を3日間に分けて間に入れていくというのが、多くの学校の考え方かなと思うのです。
山本委員	週2時間。
教育長	45分ですからね。 そのようなことで、各教育委員会等では、現在非常に混乱をして、どのようにやっていくか、英語の教科化は大きな問題かなというように思います。 文部科学省からは、それぞれでということで、受けた教育委員会としては、どのようにするのがいいか、検討して進めております。 よろしいでしょうか。どうぞ。
金田委員	福江中学校の管理教室外壁改修工事とあるのですが、今はいいのですが、例えば夏場、土日とかに締め切った際に、コンクリートが熱を持ってしまって、多分月曜日などは生徒は特に暑いんじゃないかと思うのですが、その辺の工事をすると、そういった対策というのはあるのでしょうか。
教育総務課長	それを含めて、この12月補正で認めてもらい、設計を組んでいくと。
金田委員	そういうことですか。

教育総務課長

その設計を今年度中に終えて、来年度当初から契約業者と契約して、夏休みを使ったりして、1年かけて改修をしていきます。設計段階の中で、風通しだとかいろいろなところの現状を見つつ、そこから工事をしていくということです。

金田委員
教育長

ありがとうございます。

そのほか、いかがでしょうか。

では、お諮りいたします。

平成29年度一般会計教育費補正予算につきましては、原案どおり可決することにご異議ございませんか。

(異議なし)

教育長

ご異議がないようですので、議案第24号につきましては、原案どおり可決いたしました。

次に、報告事項にまいりたいというように思います。

初めに、教育委員の皆様からの連絡報告事項をお願いしたいと思います。

山本委員、お願いします。

山本委員

10月17日の学校訪問で童浦小学校に行かせていただきました。

短くしますけれども、一言だけ。不登校ゼロ、どのように防止できたか、早期発見できたか、委員会が機能しているという、そのところを校長先生がお話しいただいて、主事の先生なども結構骨を折ったといういい話を聞きました。あの規模で不登校ゼロというのはすばらしいことなので、ぜひ田原市が全部そうなるといいなと思いました。

教育長も行かれましたが、10月26日、研究発表で私は泉小学校へ行きまして、子どもたちの作った大葉の塩焼きそばとか、ミルクもち、それから、お好み焼きなどを食べました。

ミルクもちは、講師の先生が2つ食べ、私は3つ食べたんですが、やはりああいうときは、食べてあげるというのも、作った子たちに喜ばれるのではないかと思います。

やはり参加型の研究発表で、とても充実して、子どもたちも元気よく、楽しく参加させていただきました。

以上です。

教育長
土井委員

では、土井委員。

私は10月25日に、中山小学校と清田小学校の学校訪問に行かせていただいて、どちらの学校も、学校の特色を活かした授業内容をやっていて、とても見応えのある学校だなと両方思いました。

学校の先生から出るのは、学校の老朽化とか、ここが悪い、ここがちょっと雨漏りするとか、そういうのがあって、全体に学校訪問させていただいても、どの学校もいろいろなところでそういうことを言われるので、どうしても限りがある予算なのですけれども、一番はやはり子どもが楽しく学校に通えるということを前提に考えなければいけ

ないので、特に中山小学校の場合は、本当に今、遊具が全部使えないという状況になっているようなので、そういうことを考えて、一刻も早く、修繕なり、何か手を打っていただきたいと感じました。

10月26日の研究発表は、泉小学校に行かせていただいて、先ほど山本委員が言われたように、やはり参加型で、子どもたちが目標を立てたことを一生懸命発表している姿や、すごく大きな声でみんな自分たちの意見を述べていたので、本当に先生たちが一生懸命子どもたちに教えながらやっていたということを改めて見て感じました。

11月11日は若戸小学校の学芸会に参加しました。子どもの人数がすごく少ないので、どうしても1人何役もやらなければいけないというのを校長先生がおっしゃっていたのですが、全然そのように感じさせず、子どもたちはすごく楽しそうに一生懸命発表会を楽しんでいたのです。少ない学校なりの楽しみ方というか、そういうものが感じられて、すごくいい半日を楽しませていただきました。

以上です。

部長、何かありますか、老朽化に対して。またこの後。

予算の方で言わせていただきます。

またそちらで。

なかなか台所事情は厳しく、いろいろな点で子どもにもっとかけたいのですけれども、また次の予算のほうで出てくると思います。

金田委員、お願いします。

10月7日に小学校のバスケットボール大会。つつい最後まで見入ってしまいました。朝降っていた雨がやんで、日差しが照って、東部中学校の体育館だと、本当だったら蒸し蒸しになってどうにもならないなど思っていたのが、違うなど思ったら、窓が増えている。

窓が増えたね。

増えたのでよかったなどは思ったのですけれども、本当は設計の段階からこういったものに気づいてくれば、追加の予算がかからなかったのではないかと思います。

10月8日はスポーツギネス大会。10月16日に教育活動視察ということで、福江中学校と、昼から福江小学校に行ったのですけれども、やはり上司がしっかりした人だと、いい教師が育つというのを何となく感じました。

10月24日、愛知県社会科教育研究大会ということで、神戸小学校で授業に参加したのですけれども、この発表に向けて、先生方が1年前から準備をしていたのを見て、びっくりしました。

10月26日に、伊良湖岬中学校の教育研究発表会に参加しました。

11月11日は福江小学校学芸会、15日の水曜日に子育て支援会議があったのですけれども、やはり保育園でも園の老朽化、少子化というのがとても問題になっていて、合併の話が進んでいました。いろいろ事

教育長
教育部長
教育長

金田委員

教育長
金田委員

教育長

情があるとは思うのですけれども、その地域から子どもの声が消えてしまうのはとても寂しいことだなと思って、その話を聞いていました。いろいろ慎重に話を進めてほしいなと思いました。

以上です。

金田委員

ありがとうございました。

福江小学校の学芸会で、校長先生は指揮をされていたか。

やっていました。ああいうものを見ると、保護者も安心するのかなと。

教育長

校長先生は、言葉だけではなくて、ああいう学芸会に教職員の一人として参加しているということで、非常に人気が高い。保護者の表情も期待している感じが。

金田委員

保護者もビデオを撮っているの、先生も撮るのかなと。

教育長

先生ね、子どもではなくてね。

金田委員

子どもではなくて、先生を撮っている。

教育長

結構今、うちの学校はおもしろいよなどということで、すぐにLINEなどのSNSで配信されてしまって。そういうインターネットの普及によって、起きたことが、ぱっと半島内を駆けめぐるとあるかなということで、私たちにとっては、若干危険であり、心配な部分でもあるのですけれどもね。その人の発信の仕方、受け取られる方がどう受け取るかというのがありますので、正確な情報発信ならばとは思うのですけれども。発信者の意向によるという。

それでは、遅くなりました、太田委員、お願いします。

太田委員

私も学校訪問に2校行かせていただきました。10月25日の午前中に中山小学校、昼から清田小学校です。

今までは、自分自身が学校訪問を受ける側であったものですから、教育委員として学校を訪問するのに、どのような視点で行ったらいいかということも考えながら、結論もしっかり出ないまま訪問しました。

受ける側でいいますと、いろいろ学校訪問のために準備したところを褒めていただいたり、評価していただくのは大変ありがたいのですが、ただそれだけだと、一生懸命やれば、もちろんそれだけの成果は出るのですが、やはり次につながっていくような方向性のあるものを示唆していただくと、学校としては、次の新たなステージに向かって進んでいけるかなということで、少し自分としては辛口の講評の部分も述べさせていただきました。

中山小学校では、前々からユニバーサルデザインの授業ということで、どの子にも参加しやすいというような授業をどの学級もやっておりました。焦点化、視覚化、共有化だとか、こういうようなものをキーワードにして、次第をつくってやっておりました。特に中山小学校の場合は、新しい学習指導要領に向けて、道徳や外国語、学活でも、自分も相手も大切にするというようなアサーションスキルというよう

なものにも取り組んでいたりして、とても前向きな取り組みをしているなというように思いました。

その中で私が1つ課題だと思ったのは、1年目の講師の先生も担任を持って、同じように授業をやっていく。あるいは学級担任をやっていかななくてはいけないというような立場にありまして、そういった、まだ知識も経験も少ない先生を、学校全体で支援していくようなことも実際には行われているのですけれども、今後もそのような学校体制での職員の協働というような意識を持っていただきたいというようなことを述べさせていただきました。

それから、清田小学校は、学校経営については、前年度の学校評価の課題を活かすことによって、校長先生の学校経営の方針が立てられておりまして、大変理にかなったことだなというように思いました。

平成27年度に算数で研究発表を行いまして、その流れの中で、特に清田小学校の場合は、基礎・基本を重視して、当日の授業でも、国語が4学級、算数が1学級ということで、8学級のうち5学級は国語、算数をやっていたというところにも、清田小学校のそういう意識があらわれていたかなというように思いました。

私が清田小学校で感じたのは、要綱を見せていただきますと、教員の平均年齢が51.4歳でした。同じ日に行った中山小学校が42.1歳ですので、ざっと10歳くらい清田小学校のほうが年齢が高いわけです。その部分は経験を積んでいるといえ、そういう部分もありますけれども、学校全体にとって、やはり若さとか活気とか、そういったものが授業の中でも少し不足しているのではないかと感じました。

それから、10月26日に、伊良湖岬中学校の教育研究発表会に出ささせていただきました。小規模校のよさを活用して、縦割りですべてで「わかたかミーティング」というような、全校で縦割り班を使った話し合いという、ちょっと他の学校ではまねができないようなすばらしい内容の話し合いをやっていましたし、4月には全校の合唱を行ったり、あるいは、その中で演舞をやったりということで、本当に小規模校のよさを活用したような取り組みをずっと伝統的に行っているということで、大変すばらしい子どもたち、先生方の姿でした。

校長先生のお話の中で、地域とともによりよい伊良湖岬中学校にというような、その言葉が大変印象的でしたが、伊良湖岬中学校は、来年度閉校で統合されるわけですが、この教育課題研究のあり方にも関わってくるのですが、伊良湖岬中学校自体に将来性がなく、しかも、ああいった小規模校での取り組みが他校の参考になるかということ、なかなか参考になりにくいような内容ですので、今回の2年の教育課題研究ですが、統合で大変な中での研究で、伊良湖岬中学校はパスというようなことはなかったのかなということを感じました。

それから、11月11日の午前中、大草小学校の学芸会に行かせていた

できました。大草小学校も、先ほど土井委員からありましたように、小規模校で先生方も一生懸命やっておりましたが、保護者やPTA役員、地域も学芸会を支援しているということを、会場の様子、あるいは来賓の方々の様子から受け取りました。

校長先生の間での挨拶の中で、「一緒」という、これは校内だけではなくて、地域と一緒にというような意味合いがあったかと思いますが、小規模校のよさが活かされた、大変すばらしい学芸会でした。全学年とも、劇と全校合唱、これは大草小学校が健康教育を長年やってきましたので、それと関連したような全校合唱が行われておりました。劇も大変見応えがあって、これは各小学校、どこも最近はやられているようですが、劇団の観劇会が、小学校文化芸術鑑賞事業で12万円の補助を受けて各小学校がやっております。それとタイアップして劇団から劇の指導を受けるということで、その効果もあって、大変見応えのある劇に仕上がっているのではないかと感じました。

長くなりましたが、以上です。

ありがとうございました。

全体で、お互いに質問等がありますか。

お聞きしたとき、やはり小規模校が頑張っている様子が伝わってくるかなということで、今、学校配置の検討会をやっているわけですが、そういう意味も含めて、小規模校をできるだけ充実させる中で、継続しながらというところが、田原に限らず、おそらくどの地域も、山間部、田舎部は厳しく直面しているのかなと。そういう中で、地域の中の学校というところで、中学校はなくなり、小学校もなくなってしまうと、地域が本当に寂しく静かになってしまうということで、議会やいろいろな会でも話題になっていくと思いますが、ご理解を皆さんにいただきながら進めていけたらというように思います。

以上で報告事項を終わるということで、よろしいでしょうか。

では、続いて、平成30年度当初予算要求についての報告をお願いしたいと思います。

それでは、私から報告をさせていただきたいと思います。

平成30年度予算要求調書集計表（教育部）をご覧ください。

まず、教育部の平成30年度の予算要求総額でありますけれども、事業費25億8,512万4,000円でございます。本年度予算の額27億462万7,000円に対しまして、1億1,950万3,000円、4.4%の減という状況でございます。

しかしながら、予算要求に当たり、財政当局から各部・各課に、一般財源の額に対しまして、要求上限額という形でシーリングが示されております。数字は載っておりませんが、教育部の一般財源要求上限額として示されている額が17億9,237万2,000円です。今、要求額は19億1,390万5,000円となっておりますので、差し引き1億2,153万3,000

教育長

教育部長

円が超過しているという状況で予算要求をいたしております。

この超過理由につきましては、先ほども出ておりましたが、来年度開催予定のワールドサーフィンゲームスの開催に係る費用、旧成章高校赤羽根分校の取り壊しの経費、それから旧野田中学校の利活用のための経費。現在、仮称でございますけれども、ふるさと教育センターという形のものとして活用していきたいということで、予算要求をさせていただいております。それらに関わる予算が、予算超過の主な理由となっております。

また、市の財政状況というものが減収ということで、大変厳しい状況にあります。前回は御説明したと思っておりますが、2点ございまして、1点は、法人税制の改正に伴うもの。その法人市民税の税率が、平成26年9月以前は12.3%でありました。その年の10月以降が9.7%に改正されて、さらに、来る平成31年10月以降は6%ということで、ほぼ半減という形になります。

また、2点目としては、地方交付税の合併算定替の終了に伴って、旧赤羽根町、旧渥美町でもらっていた地方交付税が、合併後15年経てばゼロになってまいります。地方交付税の推移で見ますと、一番多くもらえていたのが平成22年度、最大47億円ございましたが、合併算定替が終了する平成33年度には、この中から約40億円が減少するということとなります。

一般会計の予算額で見ますと、合併後の平成19年度が340億円。10年後の本年度は、276億円であります。また、平成33年度には、248億円が見込まれております。その予算の中で、投資的経費といわれるハード整備や施設設備に投資ができる経費も、平成19年度は109億円であったものが、10年後の本年度は、33億円という形になっています。

また、平成33年度の予想は18億円ということで、一番多かったところから比較しますと、約90億円が減少するという見込みであります。つまり、83%くらいの減少という大変厳しい状況であります。したがって、昨年度も財政当局から12%のマイナスシーリングがありましたけれども、本年度は、マイナス5.3%を挙動してくれというシーリングが出されております。大変厳しい状況だということを、まずはご理解いただきたいというように思います。

それでは、次に平成30来年度当初予算要求 教育部の方針（概要）をご覧ください。こちらが、来年度に要求している内容の主な取組であったり、重点の項目となっております。

総括ということで、大綱に定めた教育目標を目指しながら予算づくりをしていこうということでございます。

主な取組のところを見ていただきますと、まず小中学校の再編事業、中学校の管理運営事業ということで、平成29年度から継続し、学校全体配置計画の見直しを引き続き行います。これは、当初スタートする

ときに、本年度末に原案をつくりたいと申し上げておりましたが、長寿命化の関係を物理的に精査する必要があるかと思っておりますので、若干時間を要するというのもあって、それ以外の部分については、中間報告として年度末にはまとめてまいりたいというように考えております。あわせて、現在進めている中学校の統合を引き続き進めていくということで、先ほど来、出ておりましたが、福江中学校の改修工事を、来年度予算要求いたしております。

それから、「(仮称)ふるさと教育センター」ということで、これはふるさと学習の拠点として、教育センターと防災センターをミックスしたような形の利活用を図っていきたいという考え方でおります。

(2) 学校教育関係でございます。本年度末の3月議会を予定しておりますけれども、いじめ調査委員会というものを設置するような条例を制定してまいりたいということでございます。それに伴う来年度の経費。それから、英語教育活動の教科化に向けての移行期対応英語教育推進事業を新たな事業として展開するということ。

それから、教職員の指導力向上を図るため、「教師寺子屋事業」を新たに設けますということでございます。

(3) スポーツ推進事業としては、ワールドサーフィンゲームスの開催に伴う経費を計上させていただいております。

次ページからが重点事業ということで、各課ごとに載っております。教育総務課でいけば、先ほど出ておりました内容。

それから、学校教育課につきましては、多忙化解消のための「学びのみかた」、あるいは「養護教諭のみかた非常勤講師」の新たな配置とか、あるいは部活動指導員の新たな配置。移行期対応英語教育推進事業を新たに行うということ。

③のところは中学生の海外交流を廃止する予定でおります。これは、特定の子ということではなく、全体にということで、英語を広くということを考えれば、先ほどの新規事業のほうへシフトしていこうという考え方に至って、現時点においては派遣事業を廃止する考え方になっております。

それから、新たに教師寺子屋事業。

共育の関係でいきますと、スクールソーシャルワーカーの増員とか、コミュニティ・スクールの導入促進等を計上しております。

それから、生涯学習課につきましては、新たに田原文化会館の整備事業ということで、多目的ホールの非構造部材の改修工事。

スポーツ課の新たな事業としては、先ほど申し上げたワールドサーフィンゲームス。③のところ、来年度、女子ソフトボールの全国大会を東三河4市において開催するというので、それに伴う経費。

それから、田原市総合体育館の防水工事と渥美運動公園のテニスコートの工事を新たに行う予定でおります。

文化財課につきましては、ふるさと教育センターへ向けて、赤羽根の文化財の収蔵庫、いわゆる赤羽根分校の資料整理であったり、取り壊し費用あがっております。

また、図書館につきましては、「ほの国クラスター事業」の展開であったり、「タハラペディア・プロジェクト」を実施してまいるという内容となっております。

以上が、来年度の重点事業ということでございますけれども、大変厳しい中で、できる限り工夫をしながら、スクラップしながら新たな展開を試みたり、そのような考え方に立って予算を要求させていただいておりますので、よろしくご理解を賜りたいと思います。

以上でございます。

教育長

今、当初の予算要求についての報告がありました。何かご質問等がありますか。もう少し聞きたいということがあれば。

要求ですので、これが全て通るとは限りませんが、だいぶ絞りましたので、だいぶ通るのではないかと。あふれている額が1億2,000万円でしたか。

教育部長

はい。1億2,000万円あふれていますけれども。

教育長

いろいろな面で予算の総額が減ってくるものですから、教育費に対する圧縮、締めつけというのか、どこをどうしていったらいいかというところを非常に苦慮して、ぜい肉部分をそぎ落としてつくっても、どうしても1億2,000万円というところを、来週火曜日のヒアリングでどこまで認めてもらえるかわかりませんが、1億2,000万円切られるという可能性はあるのですけれども、何とかそこをどこまでと。

スケジュール的には、ヒアリングを行って、第1次の査定があつて、復活交渉があつて、最終的に来年の2月に発表ということになります。冒頭、部長が言いましたように、総額がどンドン頭を打たれて。来年が全体で290億円くらい。

教育部長

いや来年は、250億円程度くらいを目指すのではないですか。今が275億円ですので、もう5%程度カットということになりますので。

教育長

ということで、さらに増えることは難しい。よほど何かないと。

教育部長

そうですね。リーマンショックという大変厳しいときを経験していますので、そのときには、営繕工事だけでも、小中学校を合わせて総額2,000万円程度という状況がありました。そのような経済情勢に伴うのではなく、制度改正、あるいは制度が終了することによるものですから、なかなか好転が見込めないという。ですから、長期財政で見れば、250億円程度で推移するだろうというように思いますので、平成30年度の額よりも若干下回る形で推移するというのが、財政当局の見込みだというように思います。あとは、企業や経済活動が活発になれば、また別だというように思いますけれども、そういう状況ではあるかなと思います。

教育長

ということで、家計と同じようにやりくりが厳しいというところでご理解いただきながら、また教育委員会としては、みんなでスクラムを組んで前へ進めていきたいと。みんな教育を大事にするというわりに、どれだけ本当にお金が回ってくるのかなというところは、私たちの腕の見せどころではあるはずなのですけれども、ないものはないと言われてしまうと、やりたいことが先送りになっていってしまう。それでも、予算にメリハリをつけて、これはというところは申ししていきたいというように思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。

よろしいでしょうか。

では、次は、小中学校の寄附についての報告をお願いします。

教育総務課長

お願いします。

平成29年度教育関係小中学校寄附一覧をご覧ください。

10月31日現在でございますが、前回の教育委員会後、3件の寄附がございましたので、そちらの報告です。

まず、10月16日に三河ミクロン株式会社様から、小学校及び中学校、さらに市内の保育園、認定こども園も含まれますが、花いっぱい運動推進並びに環境教育向上のためということで、草花用の培土を、ばらで31.5立方メートル、袋入りで800袋、金額にして143万円相当の栽培用の土を寄附していただいております。

さらに、同じ日に田原ライオンズクラブ様から、田原市教育委員会宛てに、学校教育活動の充実のためということで、iPad 6台、タブレットですが、金額にして50万円相当の機器を寄附していただきました。学校教育課で管理しております。

もう1点が、10月31日に田原パシフィックロータリークラブ様から田原中部小学校へ、教育環境の充実のためということで、学芸会で使うための舞踊の扇子12本と、劇で使う袴4枚、金額にして11万4,000円相当の寄附をいただいたという3点がございますので、ご報告させていただきます。

以上です。

教育長

ただいまの報告で、何かご質問等がありますでしょうか。

田原ライオンズクラブからいただいたiPad 6台は、今、英語のほうで使い始めております。なかなかiPadまで予算としてもらえなかったのが、ここでせつかくの寄附を活かさせていただくということで、ご理解いただきたいと思います。

教育長

では、続きまして、その他の報告、連絡等があれば、担当課からお願いします。

生涯学習課長

生涯学習課から、よろしいでしょうか。

教育長

はい。

生涯学習課長

平成30年田原市成人式の開催についてのご案内です。

田原市成人式を平成30年1月7日午前10時から、田原市総合体育館

アリーナで開催します。式の日程は、配付してあります資料のとおりで、約40分を予定しております。お忙しい中、大変恐縮ですが、ご出席をお願いいたします。なお、個別通知を12月上旬にさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

以上でございます。

教育長

成人式、よろしくお願いいたしますと思います。

他に。

よろしくお願いいたします。

中央図書館長

田原市中央図書館15周年記念イベントということで、「うたう図書館」という事業をいたします。パンフレットの中に定例記者会見用の資料を挟んでありますので、そちらをご覧ください。

これは、田原市図書館と愛知大学文学部のメディア芸術専攻が共同いたしまして、作曲家の野村誠さんを招いて行う市民参加型のアートイベントとなっております。12月9日から、「うたう図書館ワークショップ」というものを実施して、市民の皆さんと作曲家が一緒になってオリジナルの歌をつくと。最終日の「うたう図書館フェス！」で、図書館内、開館時間中なのですけれども、時間限定で大きい声で歌いましょうということです。

今回、一般の方はどなたでもというようなことで参加を募集していますが、これとは別に、田原中学校に作曲家に出向いてもらって、既にワークショップを実施しております、30人くらいの中学生が多分当日参加をしてくれるかと思えます。中学生の愚痴に曲をつけていく、愚痴の歌というのが注目ではないかと思っております。

あと、老人ホームの福寿園へ作曲家が出かけて行って、そこでお年寄りの声を集めて、これは声の出演ということで、当日発表というようなことも予定しております。

大学で芸術を勉強している学生と、それを指導する先生たちが、このパンフレットのデザインも含めていろいろやっけていただいております。今まで図書館がつくってきたご縁をアートで表現しようということで、ぜひ教育委員の皆様も御参加いただければと思いますし、お忙しい場合には、ぜひお友達などにお勧めいただければと思います。

よろしくお願いいたします。

教育長

「キャベツをしゃきしゃき、本をぺらぺら」とパンフレットにありますが、リズムよく図書館で歌うと。「図書館で100人が歌うなんて、きっと世界中を探しても田原だけ」という、このキャッチフレーズも楽しいですね。

では、その他いかがでしょうか。

事務局

特別ありません。

教育長

委員の皆さんは何かありますでしょうか。

では、ないようですので、本日の議事等は全て終了いたしました。

ご協力ありがとうございました。

以上をもちまして、田原市教育委員会第11回定例会を閉会とさせていただきます。お疲れさまでした。

閉 会 午後3時13分

(会議録署名人)

教育長

委 員

委 員